

コミュニティ参画・発展

方針

KDDIグループ

KDDIのアプローチ(コミュニティ参画・発展)

KDDIグループは「豊かなコミュニケーション社会の実現」のため、事業を展開している国や地域が抱える社会・環境問題の解決に向けた取り組みを進めています。社会貢献活動は各地域の事業所が中心で実施しており、地域コミュニティ、行政、大学、NGO・NPOなど多様なステークホルダーの方々との対話および連携を重視し、推進しています。

方針

KDDIグループ

社会貢献方針

KDDIグループは、2012年に社会貢献方針を策定し、良き企業市民として、社会の要請と信頼にこたえ、国内外において自社の技術や人財を生かした社会貢献活動を推進しています。

活動の選定・実施にあたっては、「持続可能な開発目標(SDGs)」などの国際社会で共通の課題を考慮し、方針や手法などを検討しています。

[Link](#) Page_16 KDDIの事業・CSRとSDGsの関連性

方針

KDDIグループ

5つの社会貢献分野

KDDIは、社会貢献方針に掲げる「①デジタルデバイドの解消」「②健全な青少年の育成支援」「③環境保全」「④社会・文化支援」「⑤災害時支援」の5分野を中心に、社会貢献活動に取り組んでいます。

[Link](#) Page_41 成長市場での取り組みについて

実績

KDDIグループ

取り組み状況

① デジタルデバイドの解消(関連するSDGs:

目標	2016年度の成果・進捗
シニア層のICTリテラシーを向上する	<ul style="list-style-type: none"> 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」シニア向け講座を開催(215回、3,900名、講座理解度82%) <p>Link Page_20 ICTサービス利用の啓発活動</p>
途上国におけるデジタルデバイドを解消する	<ul style="list-style-type: none"> ミャンマーのNLD Education Network傘下の職業訓練校に対して、ノートパソコン200台とMPTのWi-Fiルータを寄贈し、トレーナーを派遣して、ミャンマーの若者たちのデジタルスキル向上を目指すCSRプログラム「Digital Skills to Go Forward」を2016年9月より開始(MPT) カンボジア、イラク、ブータンでのネットワーク構築事業を支援(KDDI財団) <p>Link Page_41 成長市場での取り組みについて</p>

社会貢献方針

基本理念

KDDIグループは、「KDDIフィロソフィ」にもとづき、当社が関わるすべてのステークホルダーのご満足を追求することで、持続的に世界中の人々が豊かで幸せな生活を送れる、笑顔あふれる社会の実現に貢献します。


行動指針

- ICT(情報通信技術)の活用による社会課題の解決が、情報通信事業者としての社会的責任であると考え、すべての人々に安心・安全で快適なコミュニケーション環境をお届けすることを目指します。
- 「デジタルデバイド^(注)の解消」「健全な青少年の育成支援」「環境保全」「社会・文化支援」「災害時支援」の5分野を社会貢献活動の中期的テーマと定め、ネットワーク、商品・サービスなど持てる資源を最大限に活用し、KDDIらしいICTを活用した社会貢献活動を実践します。
- ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、活動内容の継続的改善と開示・共有を図り、社会の発展に寄与します。
- KDDIグループ社員は、社会貢献活動方針を共有し、よき企業市民として主体的な活動を行うことで、社会とともに持続的に成長することを目指します。


注 PCやインターネットなどの情報通信技術を「持つ者」と「持たざる者」との間に、情報格差が生じる問題

コミュニティ参画・発展


■ ②健全な青少年の育成支援(関連するSDGs:)

目標	2016年度の成果・進捗
青少年のICTリテラシーを向上する	<ul style="list-style-type: none"> 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」青少年向け講座を開催(3,806回、約68万名、講座満足度93.7点) 聴覚障がいのある中学生・高校生対象の「IT教室(アプリ試作開発)」実施 <p> ICTサービス利用の啓発活動 Page_20</p>
次世代のキャリア設計に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 中学生・高校生対象の「キャリア教育」を実施 理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生の進路選択を応援する内閣府「理工チャレンジ」に賛同し、夏休みに体験型のリケジョ応援イベントを実施 大学が開催する「サマースクール(理科教室)」に協賛(KDDI財団) WoT×IoT メイカーズハッカソンの実施(KDDI財団)


■ ③環境保全(関連するSDGs:)

目標	2016年度の成果・進捗
ステークホルダーと連携した生物多様性保全を展開する	<ul style="list-style-type: none"> 「神奈川県真鶴町魚つき保安林調査ボランティア」に参加 従業員とその家族による環境保全活動を実施(全国で計122回) <p> お客さま・社員とGreen Page_92</p>

■ ④社会・文化支援(関連するSDGs:)

目標	2016年度の成果・進捗
地域社会の発展に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献サイト「キボウのカケハシ」によるNPO活動支援、募金活動を実施 <p> キボウのカケハシ Website</p>
成長地域の文化的発展を促す(KDDI財団)	<ul style="list-style-type: none"> 途上国教育支援のためのチャリティーコンサートを開催 カンボジア、ミャンマーで美術教室を開催 カンボジアで音楽教室を開催 ミャンマーでの現地スクール支援(英語、ミャンマー語、美術)
伝統文化の承継を支える(KDDI財団)	<ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能「スバエクトム」(大型影絵芝居)を継承するTy Chean一座への支援

■ ⑤災害時支援(関連するSDGs:)

目標	2016年度の成果・進捗
被災地域の早期復興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献サイト「キボウのカケハシ」での募金を実施 被災地域のインターネット接続環境を支援 被災地支援ボランティア活動の実施(熊本) <p> キボウのカケハシ Website</p>

方針

KDDI

社会貢献活動のKPI

カテゴリ	KPI	重要課題	関連するSDGs
大規模災害対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 全社訓練を年2回実施 全国を10地域にわけ、各地域を管轄する総支社が中心となり、地域ごとに独自防災訓練を年1回実施 	ガバナンス	
健全な青少年の育成支援/デジタルデバイドの解消/ICTリテラシーの向上	<ul style="list-style-type: none"> 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」青少年向け講座実施: <ul style="list-style-type: none"> 講師満足度: 94% 教材満足度: 94% 再申込意向: 92% 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」シニア向け講座: <ul style="list-style-type: none"> 理解度83% 活用度85% 	社会	 
地方創生を目的とした施策実施	<ul style="list-style-type: none"> 「しまものプロジェクト(しまものラボ)」の実施: 年間1エリア以上 	社会	
生物多様性保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全国各地における環境保全活動の実施: 年間80回以上実施 	環境	 

コミュニティ参画・発展

方針・実績

KDDI

地域連携の取り組み

■ 考え方

現在の日本は、人口減少、大都市圏への人口集中による地方経済の活力低下など、さまざまな問題に直面しています。

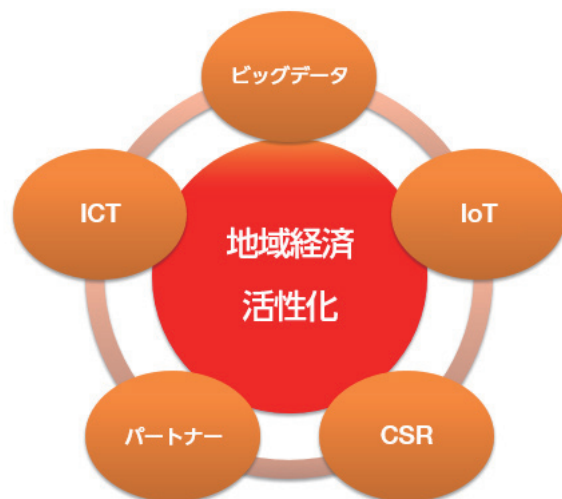
安定的な通信インフラの構築を通じ、日本社会の発展に貢献してきたKDDIにとって、地方都市の人口減少や産業の衰退は重要課題と認識しています。

■ 地域連携へのアプローチ

KDDIは2つの視点から、地域連携の取り組みを推進しています。

〈地域経済の担い手として〉

KDDIが持つさまざまな先進技術やパートナー企業のノウハウを活用し、地方自治体や地元企業、NPO法人や地域住民の方々など、多くのステークホ



ルダーの皆さまとともに、各地の特色にあったユニークな取り組みを支援しています。

〈お客さまに寄り添うライフデザイン企業として〉

ビッグデータやICT、IoTなどの先進技術を活用し、全国各地の商品やサービスなどの魅力をお客さまに伝え、パートナー企業などとともに全国のヒト・モノの流れを活性化させることで、地域経済の活性化を目指します。

■ 事例：離島地域の活性化を目指す「しまものプロジェクト」

日本には、約420の有人離島と呼ばれる島があり、「若年層の島離れや人口減少」、「島の魅力発信や価値創造」、「流通販売活動における対策」など、さまざまな課題を抱えています。

KDDIは、離島地域を応援するため、KDDIが持つリソースを活用し、離島地域の情報発信や事業者の販売サポートを行う「しまものプロジェクト」を2015年度から実施しています。

しまものプロジェクト開始後、au WALLEt Marketに出品している離島事業者の売上が約10%向上する事例があるなど、離島事業者と地域活性化貢献への一助につながっています。また2016年度から、販路拡大や商品PRに課題を抱える離島事業者の支援を目的にオンライン講座で販売の基礎を学ぶ「しまものラボ」を実施しています。



しまものラボ

■ しまものプロジェクト

開始年度	取り組み名	取り組み内容	実績
2015年	しまものマルシェ	・離島事業者の産品を「au WALLEt Market」で販売	19島24商品 (2017年6月時点までの取扱い実績)
2016年	しまものラボ	・販路拡大や商品PRに課題を抱える離島事業者を対象に「auスマートパス」の「商品モニター」を活用したマーケティング分析などを行うオンライン講座実施 ・「au WALLEt Market」に出品するための販売教育支援	2016年度 鹿児島県喜界島 ・しまものラボ参加： (6事業者12名) ・うちauWALLEt Market出品： 3事業者

■ 地域連携の主な取り組み(実績)

自治体名	取り組み内容
兵庫県豊岡市	・ビッグデータを活用した観光マーケティングの推進 ・「au WALLEt Market」を活用した特産品の販売
岐阜県白川村	インバウンド需要に対応した通信環境の整備や「auスマートパス」のクーポンを活用した送客の仕組みを確立
宮城県東松島市	スマート漁業モデル事業を開始。水中カメラやスマートブイでデータを収集し、漁業の安定・効率化を実現 Link Website スマート漁業実証実験
神奈川県真鶴町	KDDIのタブレットやソリューションサービスを活用し「魚つき保安林」の植生調査を実施

コミュニティ参画・発展

方針・実績

KDDI

地域に根ざした取り組み

■ 考え方

KDDIは企業市民として、事業を展開する地域特有のニーズにあわせた社会貢献活動に取り組んでいます。

■ 体制

KDDIは、全国の各総支社に地域社会とのコミュニケーションを推進する部署・担当者を配置し、地域の皆さまと相互交流を図る場を設けています。地域住民の皆さまから寄せられたご意見は、内容に応じて本社の関係部門と協議の上、誠実に対応しています。

また、各地域の取り組みは社内イントラネットでの公開等、情報共有体制を整えています。

■ 活動：KDDI小山ネットワークセンター構内開放

KDDIは、近隣住民の皆さまをはじめとしたお客さまへの感謝を込めて、ネットワークセンターの構内を一般開放しています。

2017年度はKDDIの取り組みを地域住民の方々により深くご理解いただけるよう、センター内の設備見学ツアーやドローンの展示等を実施しました。

・来場者数：3,900名

・満足度：94%

■ 地域に根ざした取り組み

[Link](#) Page_20 KDDIスマホ・ケータイ安全教室の実施

[Link](#) Page_93 従業員が参加する主な環境保全活動

活動・実績

KDDI

復興支援への取り組み

■ 熊本地震被災地域への支援

(1) 支援物資の提供	・ 飲料水の提供：500ml×24,768本 ・ ブルーシートの提供：700枚 ・ 消毒液の提供：1ℓ×10本
(2) 被災地域でのボランティア活動	・ 2016年度実績：KDDI社員のべ100名参加
(3) その他の支援活動	・ 復興支援マルシェの実施 ・ 熊本被災地小学生親子を山口技術保守センターへ招待(のべ28組64名)

■ 東日本大震災被災地域への支援

被災自治体出向による取り組み	東北出身者を中心に構成された復興支援室(現：地方創生支援室)は、復興庁や各被災自治体に出向し、KDDIが持つ豊富なICTのノウハウを生かし、自治体や地域の皆さまと一体となり、新しい街づくりを進めました
被災地での復興支援活動	・ 復興コンサートへの特別協賛(宮城県仙台市) Link Website 「~つながる心つながるカ~ みんなでつくる復興コンサート」 ・ IoTを活用した漁業支援(宮城県東松島市) Link Website 勤や経験だけに頼らない! 海洋ビッグデータを活用した「スマート漁業」始まる ・ 地域活性化に向けた包括連携協定締結(福島県) Link Website 福島県とKDDIとの包括的な連携に関する協定について

■ 2016年度支援活動実績

- ・ 4月15日：2016年熊本地震における被害への支援
- ・ 8月31日：台風10号による被害(北海道、岩手県)にともなう支援
- ・ 10月21日：2016年鳥取県中部地震における被害への支援
- ・ 12月22日：2016年新潟県糸魚川市の大規模火災における被害への支援

実績

KDDI

社会貢献活動の状況

KDDIは、一般社団法人日本経済団体連合会により設立された「1%クラブ」の会員企業です。2016年度の活動状況は以下の通りです。

単位：万円

活動分野	支出
① デジタルデバイドの解消	46,016
② 健全な青少年の育成支援	
③ 環境保全	11,897
④ 社会・文化支援	9,145
⑤ 災害時支援	15,803
その他	14,512

注1 社会貢献目的であっても費目が「広告宣伝費」や「会費」等であるものは除外、また社会貢献活動支出額総額に「政治献金」は含まず

注2 社会貢献活動支出額総額に「店頭募金」および「社員の寄付金」は含まず

注3 活動分野①②は該当する活動が重なるため、合算

分野	割合	取り組み事例
慈善活動	32%	・ KDDI社会貢献サイト「キボウのカケハシ」を通じた被災地域支援金 ・ 熊本地震復興支援の取り組み ・ 東北被災地復興支援の取り組み
地域社会への投資	68%	・ 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」の開催 ・ 離島地域の活性化を目指す「しまものプロジェクト」の実施

注1 社会貢献目的であっても費目が「広告宣伝費」や「会費」等であるものは除外、また社会貢献活動支出額総額に「政治献金」は含まず

注2 社会貢献活動支出額総額に「店頭募金」および「社員の寄付金」は含まず

コミュニティ参画・発展

実績

KDDI

実績

災害支援金(2016年度)

募集先: KDDI社会貢献サイト「キボウのカケハシ」

■ 国内

	寄付金額	寄付先
熊本地震被害	60,042,200円	日本赤十字社 中央共同募金会
台風10号等被害	2,117,500円	日本赤十字社 中央共同募金会

注 お客さまとKDDIグループ従業員の募金にKDDIがマッチングし寄付を実施しています

■ 海外

	寄付金額	寄付先
南米エクアドル 地震被害	3,591,700円	日本赤十字社
ハイチハリケーン 被害	1,362,000円	日本赤十字社

注 お客さまとKDDIグループ従業員の募金にKDDIがマッチングし寄付を実施しています

ボランティア休暇・JICAボランティアの利用状況(単体)

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
ボランティア休暇	単位:制度取得人数	23	8	31	16	20
JICAボランティア ^(注)	単位:派遣人数	1	2	2	2	1

注 JICAボランティア(青年海外協力隊参加制度)の人数は、各年度単位でKDDI社員がJICAに派遣されている人数